

令和6年度 学校評価 集計結果の分析・考察 及び 改善策の検討

1	本校は「生徒が指宿高校へ入学してよかった」と思えるような取り組みを行っているか？
	1 集計結果の分析・考察 職員並びに全学年とも生徒・保護者の評価は◎(B以上が90%以上)と高い評価をいただいた。本校の取組にご理解をいただいているものと考えます。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 引き続き、生徒一人ひとりを大切にしつつ、学力だけでなく人間性の向上も含めた学校としての取組を続けてまいります。
2	本校の職員は、授業が分かりやすく、充実したものとなるよう工夫しているか？
	1 集計結果の分析・考察 生徒からは3学年とも◎(B以上が90%以上)の評価をいただいた。国・数・英の少人数や習熟度に授業によるきめ細かな指導が評価されたものと考えます。保護者からは89.6%がB以上と高い評価を得たものの、90%以上を目指して授業改善等に励んでまいります。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 年2回の相互授業参観や他校の研究授業に参加するなど、引き続き職員へは授業力向上に係る研修の受講を促し、C評価(3学年で11人、D評価0人)を0%としたい。
3	本校の職員は、宿題の量の最適化を図っているか？
	1 集計結果の分析・考察 生徒・保護者・職員とも約75%がAとBと回答。「D全く思わない」はほとんどいない。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 今後も各生徒の進路目標や力に応じて、課題の個別最適化を図っていく。
4	本校の職員は、宿題以外の自発的な自宅学習について、的確な助言を与えているか？
	1 集計結果の分析・考察 AとBと回答したのが、生徒約91%、保護者約73%、職員約85%。生徒から保護者へ伝わっていない家庭もあるようだ。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 各学年、各クラスなどで、PTAやHP等を通して、宿題以外の自発的な自宅学習についての的確な助言を与えていることを、保護者へ適宜知らせる必要があると思われる。
5	本校の職員は、進路・学習等に関する相談・面談・声掛けを十分に行っているか？
	1 集計結果の分析・考察 保護者・生徒ともに◎。生徒アンケートのA+Bの割合は、1,3年生が96%、2年生が94%と非常に高い。また、保護者アンケートについてもA+Bの割合は86%と高い。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 今後も、教育相談・学年集会等を利用して進路意識向上に繋がる仕掛けを続けていく。
6	本校は、授業以外の活動(部活動、生徒会活動等)を充実させる工夫を行っているか？
	1 集計結果の分析・考察 ABの合計が生徒89.9%、保護者84.4%に比べ、職員70%と低い。この項目は職員の負担軽減と相反する部分があるため、結果として表れたのではないかと。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 職員の負担軽減は今後も継続的に考えていかなければならない。それと同時に、負担軽減しつつも生徒・保護者共に充実感を得られるような工夫を考えていく。
7	本校は、総合的な探究の時間、ボランティア活動、地域連携活動等を充実させているか？
	1 集計結果の分析・考察 生徒(1年86%、2年93%、3年93%)、保護者(86%)、職員(90%)で、ここ3年で初めて全て◎となったものの、Dが4ポイント(1年1、3年2、職員1)見られる。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 今年度は「柏葉ACTIVA(地域課題を主に探究する活動)」が4年目。外向けイベントも行っている。今後、どのような活動を追求してけばよいか、内部、外部双方からの意見を聴き、より明確にしていきたい。

8	本校は、いじめの未然防止や早期発見に向けて積極的に取り組んでいるか？ 1 集計結果の分析・考察 ABの合計が、職員・3年生では90%以上、2年生が88%、1年生・保護者が86%と昨年度よりは評価が上がった。年に5回のアンケートや、教育相談等の具体的な取り組みの意図が伝わったと考える。また「いじめ防止基本方針」の周知ができたことも要因の1つである。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 引き続き、年度当初での本校の取り組みを周知していく。
9	本校は、安心・安全で衛生的な生活環境を整えているか？ 1 集計結果の分析・考察 各評価者においてABの合計が90%の評価であった。職員においては月1の安全点検の徹底、生徒においては避難訓練をはじめ衛生面(清掃・感染対策)においても職員とともに防災・予防意識の高さを持って学校生活を送っている成果だと考える。保護者からの詳細意見は特に見られなかった。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 施設・設備面において改修等も年次計画で行われているが、劣化している箇所も少なくはないので月初めの安全点検に今後も細心の注意を払いたい。冷暖房の適切な使用については、教室や座席位置、個々の快適感などに個人差があるが可能な限り温度管理を行う。安全面においては夜間に限らず危険予測の能力を伸ばすための講話や情報を提供していく。
10	本校は、生徒にルール・マナー・エチケットを守らせることができているか？ 1 集計結果の分析・考察 生徒、保護者の回答は、AB合計が90%以上と高く、生徒の回答では、Aの割合が30%以上であり、生徒各自が意識して行動していることがうかがえる。特に3年生はABで100%と意識の高さを表している。小学校・中学校、そして家庭での教育力の高さも影響していると思われる。職員の回答が、AB合計が75%と低かった。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 生徒の資質の高さに加えて、具体的なマナー指導等も必要だと感じた。
11	本校は、学級便り・ブログ等で学校の様子がよく分かるよう工夫しているか？ 1 集計結果の分析・考察 A、Bの回答合計保護者(77.9%:昨年度より微減)、生徒(約90%:昨年度並み)、職員(約95%:昨年度並み) 職員の発信している情報が十分に確認されていない可能性もあるが、ブログなどは、タイムリーにあげられないことがあり、配信がおそくなってしまうこともあった。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 改善策として、これまで同様、学級便り・ブログ等でわかりやすくする工夫と、ブログは特別なイベントだけではなく授業風景やクラブ活動などの写真数枚をアップロードするなど、あまり凝らずに回数を少しだけ増やす必要があるかもしれない。発信について、生徒・保護者へ広く周知する必要がある。今後も各方面と協力しながら、配布物やホームページやブログの更新など、いろいろな媒体を使用して、教育活動を発信していく。
12	あなたは、積極的に業務改善を進めていますか？ 1 集計結果の分析・考察 B(ややあてはまる)以上が15人、C(あまりあてはまらない)が4人、D(まったくあてはまらない)が1人の結果であった。B以上は前年の73.0%より上昇したものの、D評価も1人であるなど認識の差が大きくなった。多くの職員は業務改善を意識し、実践していることがうかがえる。 2 改善策及び今後の在り方・方向性等 どのような場面で業務改善が進んでいないのかを精査し、これまで以上に業務の簡素化・効率化・意識化を推し進め、本来の目的である生徒と向き合う時間を確保してまいりたい。